



## ベトナムの港湾と那覇港

企画建設部次長 藪中 克一

今月 10 日から 17 日まで、ポートセールスのためベトナムを訪問してまいりました。現地を訪れて感じたままをごく簡単にご報告したいと思います。

### <ハイフォン港>

ベトナム北部のハノイ周辺には、日本企業の工場が多く立地しております。これらの工場の部品の輸入と製品の輸出に欠かせないのがハイフォン港です。

ハイフォン港は、川沿いに点在する 11 のターミナルからなります。水深は-6m 前後と浅く、干潮時の航行制限や多額の維持浚渫費用などの課題があります。

日本政府の協力により沖合に大水深の港を建設する予定ですが、ある中国の船会社は、「あと数年はかかる。アクセス道路も必要。」と言っていました。需要に対してインフラ整備が追いついていないという印象です。

### <ホーチミン港とカイメップ港>

南部のホーチミン港は海から約 80km 遡った川沿いに立地しております。航路水深は-8.5m に制限されており、バージによる水上輸送が行われております。

2009 年頃から河口付近のカイメップに水深-12~-14m のターミナル群が建設されました。当時、APM（デンマーク）やハチソン（香港）など外国企業が先を争ってターミナル事業に参画し、2011 年の開業当初は欧米航路など週 15 便を数えました。その後、ヨーロッパの経済危機とそれに伴う航路再編により週 8 便にまで減少し、一部のターミナルは運用休止や用途変更（バルクやクルーズ船向け）を余儀なくされました。しかし、貨物量自体はむしろ増えております。

経済情勢という外的要因もありますが、政府がしっかりとしたプランを持たずに、外国企業が手を挙げた数だけ多くのターミナルを余計に作ってしまった（作りすぎた）ということかと思われま

す。

さて、両方の港を見てきました。どちらも問題を抱えているのは確かですが、どちらがよりましたかといった場合どうでしょうか。

私は、後者の方が今後伸びる余地があると感じました。様々な矛盾や問題を抱えつつも、ベトナムの成長力がこれらをカバーしてくれるだろうと思います。

訪問中、あるところで那覇港の空撮写真を見せたところ、先方から「うらやましい」と言われました。外海に面した大水深の岸壁、広いコンテナヤード等々。

あとはガントリークレーンと物流センターが整備されれば、那覇港も立派な国際コンテナ港となります。これらの施設をどれだけ目一杯活用できるか…。那覇空港に近づく飛行機の窓から港を眺めつつあらためて考えさせられました。



## 那覇港管理組合設立10周年記念講演会を開催しました！

(総務部総務課)

平成14年に設立された那覇港管理組合が10周年を迎えたことを祝うとともに、那覇港のさらなる発展を図る一里塚とするため、平成25年1月10日にロワジールホテル那覇において記念講演会を開催しました。

記念講演会では、「那覇港管理組合のあゆみ」を金城参事監兼企画建設部長から報告した後、「東南アジア国際物流の中心港「シンガポール港」に学ぶもの」と題して西島浩之氏（シンガポール大学海事研究センタ上級研究フェロー）に、「世界のクルーズの動向と那覇港の役割」と題して池田良穂氏（大阪府立大学教授）にご講演いただきました。

西島浩之氏の講演では、2000年以降、めざましい成長を遂げたシンガポールの経済情勢と、それを支えたシンガポール港がいかんにして発展してきたかについてご紹介いただきました。そして、シンガポール港に学び、各港湾関係者の協力により、国内外からのトランシップ貨物を誘致するとともに、受け入れ体制を拡充することにより、那覇港も格段に発展することが可能であることをお話いただきました。



西島氏の講演の様子



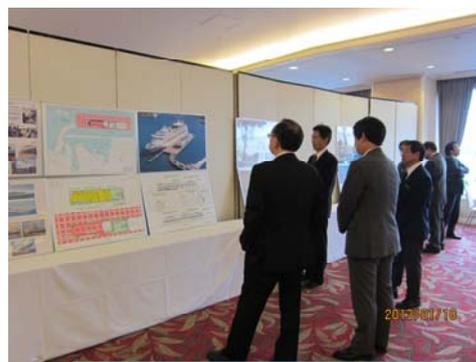
池田氏の講演の様子

池田良穂氏の講演では、クルーズ産業が、今後アジアを中心に成長が見込まれることや、クルーズの拠点港や寄港港が地域に与える経済波及効果の大きさについて説明がありました。さらに、那覇港は寄港港から拠点港を目指すべきである、とのご提言をいただきました。

講演会は大変盛況で、港湾関係者や那覇港管理組合 OB、経済団体等から約200名がご参加いただき、会場を急遽変更しましたが、ほぼ満席となりました。



「那覇港管理組合のあゆみ」の報告



那覇港を紹介するパネル展示

## クルーズ船「にっぽん丸」でディナー&ダンスのタベ

(企画建設部 建設課 与儀実彦)

2月20日、大型旅客船バースに停泊中のクルーズ船「にっぽん丸」を活用し、「ディナーとダンスのタベ」と銘打って船内パーティを開催しました。

今回のクルーズ船における社交ダンスパーティーの企画は、昨年6月の那覇港管理組合と(株)商船三井等との意見交換会で、クルーズ船を広く県民にアピールする事と、停泊中の船内ホールを有効活用することを目的に、当組合から提案しました。10月頃から詳細を詰め、当組合単独主催ではなく、ダンスパーティーにノウハウのある那覇市文化協会の社交ダンス部会と共催し、チケット販売やパーティーの運営を任せる事になりました。

チケットの販売は、昨年12月中旬の社交ダンスパーティー等での案内に始まり、当組合のホームページへの掲載、社交ダンス部会役員の伝手や口コミ等で宣伝に努めました。その結果、1ヶ月足らずで募集人員の120名を超える予約があり、最終的には、関係者を含め136人の参加者となりました。性別では、男46人、女90人と、予想どおり圧倒的な差がありました。

船内でのディナーはフレンチ・フルコースで、沖縄の食材を活かしつつ、とても美味しいものとなっており、牛肉が苦手な私の友人もソースの旨味に思わず平らげてしまったとのことでした。

社交ダンスは、大きくスタンダード(5種目:ワルツ、タンゴ、スローフォックストロット、クィックステップ、ヴェニーズワルツ)及びラテン(5種目:ルンバ、チャチャチャ、サンバ、パソドブレ、ジャイヴ)の2つに分類されています。これら10種目中で主に踊られているのは、約7種目です。いずれも音楽のテンポやリズムも違いますし、ステップや体の動きもそれぞれ特徴があります。



今回のダンスタイムの生バンド「アスールプラプティ」はこれらのジャンルを万遍なく演奏し、音楽性も高く、素晴らしく、参加者からは延長を求める声もありました。

社交ダンスは、通常長方形のフロアで踊るものですから、今回の円形フロアでは多少踊りにくい面もありましたが、木質の良いフロア・クッションが好評でした。

また、50組がいっせいに踊るには、フロアの大きさが狭いことが当初から懸念されていたので、参加者をAグループ、Bグループと食事開始時間を30分ずらした2つのグループに分けて、それぞれが広々と踊れる時間帯を30分ずつ捻出しました。最後にはA・B合同のダンスタイムを設け、大変賑やかになりました。

ダンスタイムの半ばには（株）商船三井および（財）沖縄観光コンベンションビューローから33個のオリジナル商品の提供をいただき、お楽しみ抽選会を開催しました。中でも、公開抽選を行った田崎真也ソムリエ監修のにつぼん丸オリジナルワイン5本は好評でした。



イベントの最後に、当組合から参加者を対象にアンケートを実施し、回答していただいた方々には星砂ミニチュアボトルを粗品として提供しました。

アンケート結果では、食事の感想として98%の方々から、ダンスフロアの雰囲気に対しては89%の方々から良かった、満足したとの評価を受けました。さらに、今後の同様な企画に参加及び検討したいという評価が98%あったことは、4月18日に「ぱしふいっくびいなす」で開催する第2弾企画や、今後に繋がる弾みになるものと思います。



## 那覇港 波の上緑地ダイビングスポットにて体験ダイビングを開催しました！

(企画建設部 企画室)

那覇港波の上緑地ダイビングスポットは、平成 21 年 8 月に策定された「みなとまちづくりマスタープラン」において、波の上ビーチとともに「海と楽しむゾーン」としており、貴重な海洋資源であるサンゴや海洋生物を、自然のままに観ることの出来る場所です。

この度、平成 25 年 4 月からの供用開始に向け、波の上緑地ダイビングスポットの周知・利用促進によるウォーターフロントエリアの活性化を図ることを目的として、平成 25 年 3 月 3 日に体験ダイビングを実施いたしました。

当日は、那覇市内や県内各地から 25 名の方が参加され、事前の体調チェック、インストラクターによる講習を受けていただいた後、体験ダイビングとサンゴの移植をして頂きました。



その後、ダイビングスポットまで移動。  
インストラクターによる講習を受けてもらいましたが、緊張している方もチラホラ。



受付と事前の体調チェックを済ませてから、ウェットスーツを配ります。

ボンベやゴーグル、足ひれの準備をして...



ついに海の中へ！  
いってらっしゃーい！  
足下は滑りやすいので気をつけて！



体験ダイビング開始！





波の上緑地ダイビングスポットの海中には...



色々な種類のサンゴや！  
お魚などの海生生物がいっぱいです！



みんなでサンゴの移植も行いました。



体験ダイビングも終了。  
お疲れ様でしたー！  
陸に上がるとボンベが重そうです。

体験ダイビング終了後のアンケートでは、「貴重な体験でした。」「サンゴ、熱帯魚が多く見られてびっくり。」「とても良かった。沖縄の方がもっと体験できるように本土の方以上に沖縄のダイビングを知ってほしい。」「とても良い経験になりました。小中学生にも体験してもらいたい。」「那覇の海にこんな綺麗な場所があるとは知りませんでした。」などの声をいただきました。

ちょっと肌寒い天候でしたが、参加者の皆様にはダイビングを楽しんでもらえたようです。

これから本番を迎えるレジャーシーズン、身近な海にもこんなすばらしいスポットがありますので、是非、那覇港へお越し下さい。

# クルーズ体験記～にっぽん丸「飛んでクルーズ沖縄 Bコース」～

(総務部総務課)

那覇港では、クルーズの誘致や受け入れ体制の充実を目標に掲げているところですが、実際にクルーズの旅がどのようなものなのか、数々の文献や体験談を見聞きするものの、実体験がほとんどありませんでした。そこで今回、平成 25 年 2 月 19 日～20 日に那覇港を発着したクルーズ船、にっぽん丸の「飛んでクルーズ沖縄 Bコース」に参加しました。

## 1. クルーズ船について

クルーズ船は、大きく分けて、1人1泊あたり1万円台で利用できるカジュアルクラス、1人1泊あたり6万円以上の高級なラグジュアリークラス、2つの中間クラスとなるプレミアムクラスの3つのクラスに分けられます。今回乗船させていただいたにっぽん丸はプレミアムクラスに位置付けられていますが、日本船籍ならではのおもてなしとハイレベルな「食」に定評があります。

今回のツアーでは、約 270 名の乗客と、約 230 名のクルーで、沖縄本島近海を1泊2日で周遊するワンナイトツアーに出かけました。

クルーズ船は、リゾートホテルのホスピタリティと、テーマパークのエンターテイメント性を兼ね備えたような楽しさがありました。その内容を少しだけ紹介したいと思います。



## 2. クルーズ船でくだおれ

クルーズの大きな楽しみの1つに豪華な食事が 있습니다。ディナータイムにはフルコースメニューが楽しめるほか、数カ所あるカフェでは、いつでもスイーツや軽食を味わうことができ、間食三昧です。朝食・昼食も和食・洋食を選ぶことができ、胃袋に余裕があれば、両方のメニューを堪能することもできます。これらの食事代は全てツアー料金に含まれているため、ふところ具合を気にする必要もありません。ちなみに私は朝食を2食味わいました。多くの乗客が太って下船するそうです。



## 3. 遊び尽くせない船内でのエンターテイメント

今回のツアーでのメインショーは、カクテルパーティ&成底ゆう子さんのコンサートで、オリジナルカクテルと、美声に酔いしれることができました。

メインショー以外にも、一流の講師を迎えて講演会や社交ダンス教室などがあり、それらが全て無料で楽しめるのも驚きです。私は「琉球紅茶(講師:内田智子)」の講演会を受講しましたが、かなり興味深い講話と実演を楽しむことができました。

また、船内にはキッズルームやエステ、ミーティングルーム等があり、様々なニーズに対応できるような設備がありました。さらに、カジノラウンジやカードルーム、スポーツジムやシアタールーム、プールやオーシャンビューの大浴場などのエンターテイメント施設や、デッキゴルフや輪投げゲーム等のプログラムも用意されており、他の乗客との交流も楽しむことができます。今回の1泊2日のツアーではとても全ての施設を回ることにはできませんでした。



## 4. 最後に

クルーズ船の船旅は、様々なニーズに対応した独特の楽しさがありました。もっと多くの人にクルーズの船旅を知っていただき、にっぽん丸のようなプレミアムクラスの船旅に人生のご褒美として参加していただいたり、ボイジャーのようなカジュアルクルーズに気軽に参加していただいたりしていただければと思います。

## 指定管理者制度の導入について

(企画建設部企画室)

平成 25 年 4 月から、三重城小船溜、三重城小型船だまり駐車場、波の上緑地、波の上緑地駐車場、波の上ビーチ、若狭海浜公園及び若狭海浜公園駐車場（以下「那覇港港湾施設」という。）の 7 施設について、指定管理者制度の導入が決定しました。

これらの施設は、平成 25 年 4 月 1 日から民間の指定管理者（NAHA えんがん共同企業体）により、管理運営が行われます。指定期間については、平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 3 年間となっております。

那覇港管理組合では、平成 21 年 8 月に策定した「那覇港みなとまちづくりマスタープラン」の中で、那覇ふ頭明治橋より新港ふ頭小船溜（泊漁港背後）にかけてのウォーターフロント地区において、万国津梁のロマンあふれる交流のみなとまちづくりをテーマに掲げ、万国津梁の志を持って大交易時代が築き上げられた、琉球王国におけるみなとまちのような、人々が集い、活気に満ち、ロマンあふれる交流のみなとまちの再生を目指しております。

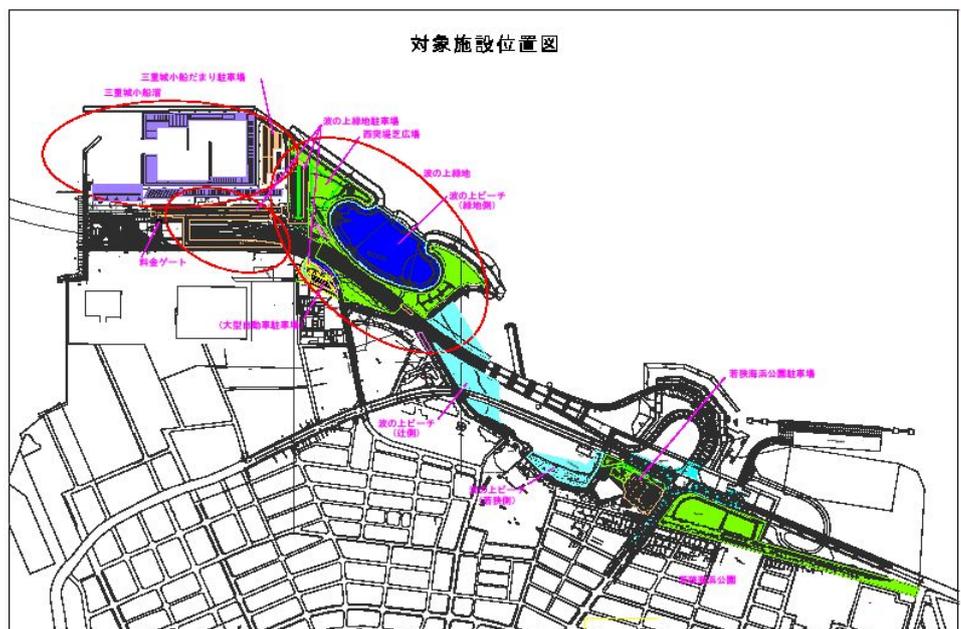
今回、那覇港港湾施設の一体的管理について、利用者に対するサービスの向上と施設の適正な運営を図るため、平成 25 年 4 月以降の指定管理者制度の導入を目指し、平成 24 年 10 月 17 日から平成 24 年 12 月



13 日まで指定管理者を募集しました。平成 24 年 12 月 26 日に、応募があった県内企業 4 団体の中から那覇港管理組合指定管理者選定委員会において審査をした結果、NAHA えんがん共同企業体（那覇市沿岸漁業協同組合、沖縄ビル・メンテナンス株式会社、沖縄ライブハウス協同組合）が最高点を獲得し、指定管理者候補者に選定されました。NAHA えんがん共同企業体については、平成 25 年第 1 回那覇港管理組合議会（2 月定例会）で議会の議決を受け、平成 25 年 2 月 15 日に那覇港港湾施設の指定管理者に指定されました。

那覇港港湾施設は、マスタープランに位置付けられた中核施設であり、指定管理者には、民間としての創意工夫やきめ細やかな対応能力等を発揮して頂き、人々が集い、活気に満ち、ロマンあふれる交流の場としてのみなとまちの再生を期待しております。

那覇港管理組合では、マスタープランのもと、みなとまちづくりの目標達成に向け、今後も更に那覇港におけるウォーターフロントの魅力ある空間づくりに取り組み、利用者の利便性を高め、観光振興に資するとともに、適切な管理運営を図っていきます。



## 「那覇港長期構想検討委員会（第1回委員・幹事合同委員会）」を開催しました

（企画建設部 計画課）

平成25年2月5日（火）ロワジュールホテルにて、那覇港長期構想検討委員会（以下、委員会という。）を開催致し委員の皆様から貴重なご意見を頂きました。

委員会は、学識経験者、港湾・地元関係者、経済・観光関係者等の計25名で構成され、那覇港のおよそ20年～30年後における那覇港へ期待される役割や港湾の開発、利用及び保全の基本的方向や、概ね10年～15年先を目標とする港湾計画について、各委員の皆様方から多角的な視点からの意見を頂き検討を行う目的で設立し、計4回の開催を予定しております。

当日は、いろいろなご意見が出され、物流及びクルーズを柱として今後検討していくこととなりました。

主な意見は下記のとおりです。

### ＜物流について＞

- ①当面の課題もあるが、新たな戦略戦術を大胆な形で練る必要がある。
- ②条件整理を行い、港に貨物が集積される仕掛け作り
- ③総合物流センターの活用。
- ④外国航路の充実。香港航路の復活等、商談会等を通じた新しい販路の拡大。

### ＜クルーズについて＞

- ①クルーズについては、たいへんな追い風がある。
- ②クルーズのハブ港になることが非常に大事である。

### ＜その他＞

- ①物流を円滑にするため、道路ネットワークの構築。
- ②港湾施設の老朽化対応
- ③港湾と空港との連携



## 平成25年度当初予算の概要

(総務部 総務課)

### 《 一般会計 》

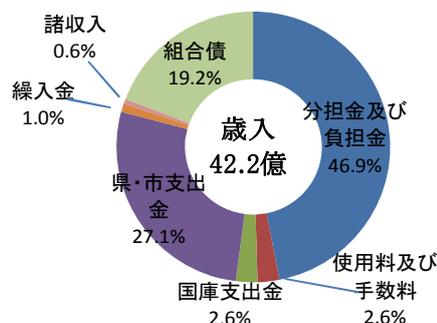
一般会計の平成25年度当初予算額は、歳入歳出それぞれ総額42億1,784万円となっており、前年度と比較すると7億7,497万円(18.3%)の増となっています。

#### 歳入

(金額:千円)

歳入区分	H25年度 当初予算額	H24年度 当初予算額	対前年度比
分担金及び負担金	1,978,917	1,959,764	19,153
使用料及び手数料	108,906	112,486	△ 3,580
国庫支出金	108,900	656,360	△ 547,460
県・市支出金	1,142,714	664	1,142,050
財産収入	1	1	0
繰入金	40,929	43,580	△ 2,651
繰越金	1	1	0
諸収入	24,476	22,315	2,161
組合債	813,000	647,700	165,300
歳入計	4,217,844	3,442,871	774,973

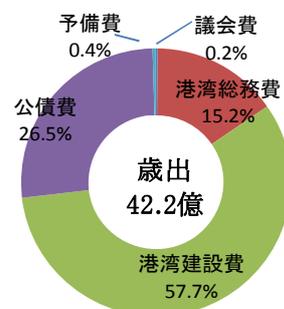
#### 平成25年度当初予算



#### 歳出

(金額:千円)

歳出区分	H25年度 当初予算額	H24年度 当初予算額	対前年度差比
議会費	9,355	9,355	0
港湾総務費	642,997	578,220	64,777
港湾建設費	2,431,847	1,717,993	713,854
公債費	1,115,645	1,117,303	△ 1,658
予備費	18,000	20,000	△ 2,000
歳出計	4,217,844	3,442,871	774,973



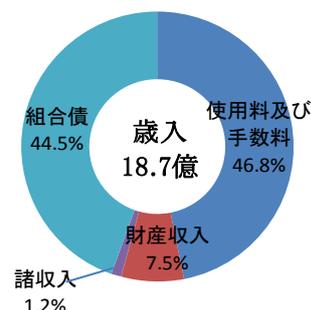
### 《 特別会計 》

特別会計の平成25年度当初予算額は、歳入歳出それぞれ総額18億7,026万円となっており、前年度と比較すると3,235万円(1.7%)の減となっています。

#### 歳入

(金額:千円)

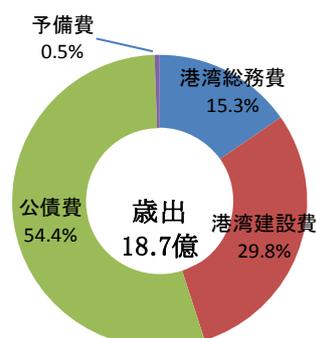
歳入区分	H25年度 当初予算額	H24年度 当初予算額	対前年度比
使用料及び手数料	875,834	855,389	20,445
財産収入	139,429	137,714	1,715
繰越金	1	1	0
諸収入	21,900	21,817	83
組合債	833,100	887,700	△ 54,600
歳入計	1,870,264	1,902,621	△ 32,357



#### 歳出

(金額:千円)

歳出区分	H25年度 当初予算額	H24年度 当初予算額	対前年度比
港湾総務費	285,993	461,070	△ 175,077
港湾建設費	556,399	368,537	187,862
公債費	1,017,872	1,063,014	△ 45,142
予備費	10,000	10,000	0
歳出計	1,870,264	1,902,621	△ 32,357





12/17(月)

### 非常勤副管理者に久高 将光 氏が就任しました

- 仲村 家治 非常勤副管理者が那覇市副市長を退任したことに伴い、新たに久高 将光 那覇市副市長が平成24年12月17日付で、那覇港管理組合の非常勤副管理者に就任しました。



1/10(木)

### 平成25年 新年祝賀名刺交換会～那覇港振興協議会～

- 去る1月10日(木)に那覇港振興協議会による「新年祝賀名刺交換会」がロワジールホテル那覇において開催されました。那覇港関係者150名余りが参加し、新たな年を祝いました。



1/28(月)

### 模擬訓練を実施

- 大規模災害発生時においても那覇港が継続的な物流機能を確保・発揮することを目的に、平成22年度から「那覇港・復旧シナリオ(案)」の検討が進められてきました。当該復旧シナリオ(案)の内容の確認・見直しを図るための模擬訓練(机上訓練)を港湾関係団体と合同で行いました。



2/15(金)

### ガントリークレーン3号機に着手

- 那覇港新港ふ頭地区において、ガントリークレーン3号機の製作工事に着手しました。大型コンテナ船に対応したオンデッキ数18列×6段積み、災害時における緊急物資の輸送確保などからも免震機能を付加した整備を行う予定です。



3/1(金)

### 新海面清掃船の進水式を行いました。

- 平成24年10月より建造を進めていた新海面清掃船「清港丸Ⅱ」の進水式が、建造関係者参加のもと、浦添市伊奈武瀬の琉球造船鉄工株式会社にて執り行いました。なお、完成引渡しは平成25年3月末を予定しています。

## 2/12 吉村清副管理者の退任

- 当組合の設立当初から非常勤副管理者として御尽力いただいた吉村副管理者(浦添市副市長)が退任されました。

3/7 第2回那覇港物流ビジネスモデル導入事業検討協議会を開催しました。

3/8 第2回那覇港総合物流センター可能性調査検討委員会を開催しました。

3/21 泊ふ頭旅客ターミナル棟の起工式が開催されました。

3/27 那覇港利用促進協議会を開催しました。

## ～那覇港管理組合議会のうごき～

### 2月定例会の開催(2/12～14)

下記の議案が可決されました。

○議員提出議案第1号:

那覇港管理組合議会議規則の一部を改正する規則

○議員提出議案第2号:

那覇港管理組合議会議会委員会条例の一部を改正する条例

○議員提出議案第3号:

那覇港管理組合参考人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

○議員提出議案第4号:

那覇港管理組合議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○管理者提出議案第1号:

那覇港管理組合港湾施設管理条例の一部を改正する条例

○管理者提出議案第2号:指定管理者の指定について

○管理者提出議案第3号:工事請負契約について

○管理者提出議案第4号:

平成24年度那覇港管理組合一般会計補正予算(第3号)について

○管理者提出議案第5号:

平成24年度那覇港管理組合特別会計補正予算(第1号)について

○管理者提出議案第6号:平成25年度那覇港管理組合一般会計予算について

○管理者提出議案第7号:平成25年度那覇港管理組合特別会計予算について

### 渡久山朝一議員のご勇退

○那覇港管理組合の設立当初から、11年余の長きにわたり議会運営委員長としてご尽力いただいた渡久山議員が、3月28日をもってご勇退されます。そのため、今回の2月定例会が那覇港管理組合議会議員としての最後の公務となりました。

## 那覇港管理組合

### 今後の主な予定

- 那覇港管理組合退職者辞令交付式(3/29)
- 那覇港管理組合転入者辞令交付式(4/1)
- ディナーとダンスのタベ  
(於:ぱしふいっくびいなす)(4/18)
- 転入者職員研修(4/25～26)

## 訃報

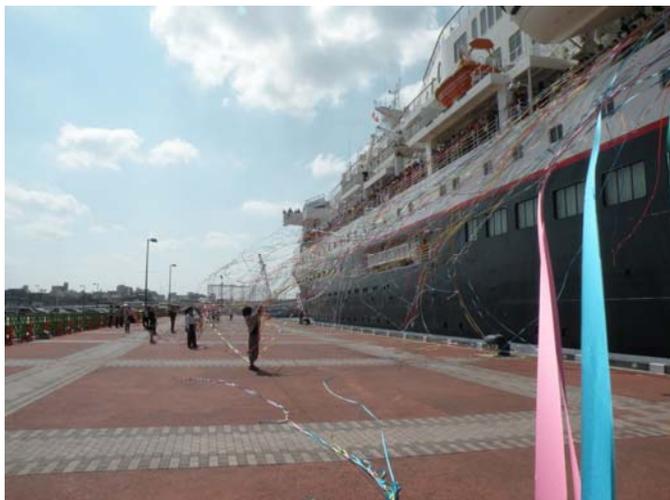
平成25年2月24日  
那覇港管理組合議員の前田政明氏が  
事故のため急逝されました。  
心からお悔やみ申し上げます。



# 那覇港写真館



新清掃船「清港丸Ⅱ」の安全祈願



にっぽん丸のお見送り

夜も働く那覇港



\*\*\*\* 那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先\*\*\*\*

那覇港管理組合総務部総務課(担当：福原)

〒900-0035 那覇市通堂町2番1号

TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp

\*\*\*\*\*